

ひとこと。

Vol.42

今月は、10月1日に北海道新聞社深川支局に着任した峯村秀樹支局長にお話を伺いました。

―出会いを大切に

北海道新聞社に入社して31年になります。この仕事の一番の魅力は、さまざまな人と出会えることです。これまで中標津をはじめ、苫小牧、釧路、小樽、北見など道内各地で勤務してきました。支局勤務では特定の分野だけでなく、行政や経済、文化、スポーツなど幅広い話題を取材するため、さまざまな立場や年代の方々と出会う機会があります。

各地への転勤を重ねる中で、地域ごとの人柄や文化の違いにも触れてきました。特に海沿いの地域では、率直な言葉遣いに最初は戸惑うこともありましたが、交流を重ねるうちに温かさや懐の深さを感じるようになりました。異動で地域を離れた後も交流が続く方もおり、人とのつながりは私にとって大切な財産となっています。

―地域の今を伝えたい

取材で心掛けているのは、下調べをしっかり行う一方で、知ったかぶりをせず、相手から言葉を引き出すことです。地方に赴任すると、まず行政資料や観光パンフレットを読み込み、その地域への理解を深めることから始めます。現在は北空知について勉強中で、地域の歴史や魅力を学んでいます。また、デスク時代に培った「ニュースの要点を見極める力」は、現場での取材にも生きています。限られた時間の中で何が重要かを意識しながら話を聞き、地域の出来事や人々の思いを分かりやすく伝えていきたいと考えています。

これまでさまざまな現場を取材してきましたが、特に印象に残っているのは、道警担当時代の経験です。警察が捜査上の理由で情報を公表できないことも多く、事件現場周辺での聞き込みや、関係者への取材、時には長時間の張り込みなど、情報を集める日々でした。記事につながる情報を得られないこともありましたが、地道な積み重ねの大切さを学びました。また、情報は裏付けが取れて初めて記事になります。情報を集める力だけでなく、その真意を見極める重要性も実感しました。

―みなさんへ

活躍する人や地域を盛り上げるイベント、食の魅力などを積極的に発信していきたいと思います。「あの記事、読んだよ」と声を掛けていただけることが日々の大きな励みになります。みなさんとの出会いを大切にしながら、地域に寄り添った取材を続けていきますのでよろしくお願いします。

ご厚志（9／30まで）

日本赤十字社▼深川市立一已中学校第6期同期生　令和8年熊本地震災害義援金として▼絆の会　令和8年熊本地震災害義援金として

消防施設整備資金▼佐藤重信さん　妻幸子さんの死去に際して

市立図書館（図書）▼北名照美さん▼高橋正裕さん▼匿名7人

社会福祉協議会▼齊藤稔さん母菊江さんの死去に際して▼吉田宏之さん　母吉田シメ子さんの死去に際して▼東野政治さん　母ミネ子さんの死去に際して▼藤瀬勝之さん　妻良子さんの死去に際して▼杉本慶範さん　母ヨシ子さんの死去に際して▼蓑口壱晴さん　義父岡本忠治さんの死去に際して▼島田裕之さん　父克之さんの死去に際して▼中村優子さん　夫晃さんの死去に際して▼佐藤重信さん　妻幸子さんの死去に際して▼中本勝夫さん　妻惠子さんの死去に際して▼中田浩一郎さん　父浩作さんの死去に際して▼中瀬裕一さん　母光枝さんの死去に際して▼宮下タミ子さん　夫勝年さんの死去に際して

【順不同・団体などの敬称略】

広報に関する

アンケートを実施しています!!

広報ふかがわが市民のみなさんに愛され続けるとともに、時代の変化に合わせたよりよい広報活動を行えるよう、アンケートを実施していますので、みなさんの協力をお願いします。

回答は、下記または市ホームページからお願いします。

【URL】
https://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/section/soumu/ru8gdn0000000ugh.html

【問合先】　秘書課秘書広報係（☎26-2216）